

群馬工業高等専門学校
令和 8 年度 入学式式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、ここに本科生 209 名、留学生 3 名、編入生 1 名、専攻科生 39 名、合わせて 252 名をお迎えすることになりました。在学生、教職員一同、心から歓迎いたします。

皆さんが入学された群馬工業高等専門学校は、高等専門学校制度創設と同じ、1962 年（昭和 37 年）、実践的・創造的技術者を養成することを目的とした五年間一貫教育を行う高等教育機関として開校されました。また、二年制のより高度な専門教育を行う専攻科も、1995 年（平成 7 年）に設置されました。

本校では、「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり、人類の繁栄に貢献できる人材を育成する。」ことを教育理念として教育・研究活動に取り組んでおり、本年三月で、本科・専攻科をあわせて 10,774 名の卒業生・修了生を輩出し、幅広い分野で活躍されています。

本科に入学された皆さん、留学生、編入生の皆さんは、本日から群馬高専の学生として新しい一歩を踏み出します。期待に胸を膨らませると同時に、新しい学校生活に不安を感じている人もいるかもしれません。特に、学生寮で生活することになる皆さんは、生活面での変化も大きく、不安に思っておられる方もいるかもしれません。焦らずに、少しずつ新しい学校生活に慣れていただければと思います。悩みごとは、自分ひとりだけで抱え込まないでください。悩んだら、先生やご家族、先輩、友人などの周りの人に相談してください。皆さんが、いろいろな課題を乗り越えられるように、教職員ができる限りサポートしていきます。一緒に頑張っていきましょう。

本科の皆さんは、中学校を卒業されて群馬高専に入学され、高専生になりました。高校へ進学されていれば、皆さんは中学校の時と同じように、「生徒」と呼ばれたはずですが、高専では大学生と同じ「学生」と呼ばれます。「生徒」と「学学生」の大きな違いは、「教えてもらうのが生徒、自ら学習・研究するのが学生」ということではないかと思います。ですから、勉強においても、生活においても、「自分から取り組む」という自立への努力がとても大切になります。

皆さんには、群馬高専での学校生活において、何事にも興味を持って、積極的に勉学をはじめとする様々な活動に取り組んでいただきたいと思います。

理工系の勉強は、基本的に積み上げです。日々の努力の積み重ねが、最後に実を結ぶことを忘れないで下さい。日頃から自学自習の習慣を身につけ、受け身の姿勢で指導を待つのではなく、明確な目的意識を持って、自ら学んでいこうという前向きな姿勢で学修に努めるように心がけていただきたいと思います。

また、自分の専門の知識や技術だけでなく、人文科学や社会科学、自然科学などの分野も疎かにはしないでください。社会に出てから求められる能力を身につけるためには欠かせない教養となります。また、スポーツや芸術、音楽などに触れることも大切です。

高専での生活は、勉強以外でも多くのことを学べる時間でもあります。学校行事やクラブ活動、国際交流活動、学内外のコンテストなどにも積極的に参加するようにはしていただければと思います。様々な可能性に果敢にチャレンジしてみてください。

また、学校生活の中で、友人や先輩、後輩、教職員のみならず、本校を応援いただいている様々な方との交流を広げていただければと思います。そのような学生時代の様々な出会いは、一生の財産として、今後の皆さんの人生を豊かなものにしてくれることと思います。

遠く海外から第三学年に編入学された留学生の皆さんにおかれては、母国を離れ、日本で勉強することは大変なことだと思いますが、教職員ができる限りサポートしていきますので、一緒に頑張っていきましょう。皆さんとの交流は、日本の学生にとっても異文化を理解するための貴重な機会となります。両者が相互理解を深め、その絆が強まることを願っています。

高等学校から第四学年に編入学された方にとっては、これからの高専生活は、高校時代と比べて、学習内容や学習環境が大きく変化するのではないかと思います。一日も早く高専の環境に慣れて、本校での新しい交友関係を築いていってください。

専攻科に進学された皆さんは、気持ちを新たにして、新鮮な気持ちで本日を迎えていることと思います。専攻科では、専門分野における高度な授業を受けるとともに、研究室での研究生活が中心になります。本科を卒業して、さらに二年間、学ぶことの意味をよくお考えいただき、専門分野をさらに深めるとともに、一般教養も含めた幅広い知識と能力、物の見方を身につけていただきたいと思います。

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。また、ご来賓の後援会会長の石井様、御多用の中、ご参会いただき、ありがとうございます。

高専は、中学・高校とは異なる高等教育機関であり、学生たちの自主性を尊重した教育を行っております。もしかしたら、このような教育環境に戸惑うこともあるかもしれませんが、皆様の温かい見守り、励ましが、学生にとって、何よりの支えとなります。ぜひご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが、群馬高専において様々なことにチャレンジし、有意義な学生生活を送られるとともに、夢や目標を叶えられることを祈念して、式辞といたします。

令和8年4月6日

群馬工業高等専門学校

校長 大金伸光